

阿波市 議会だより

第7号 [平成20年3月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地
電話 0883-35-4118 FAX 0883-35-4150

平成十九年第四回(十二月) 阿波市議会定例会の概要

十二月定例会は、十二月三日から二十日までの十八日間の会期が開かれました。
開会日には、小笠原市長が、「手づくり文化の創造」を本市のテーマに開催され、県内外からの多数の来場者にご好評をいただいた第二十二回国民文化祭などについて行政報告を述べました。このあと、平成十九年度一般会計補正予算案など計十四件の議案についての概要と提案理由の説明がされました。代表・一般質問では、十二人が市政全般について考えを問う、安心・安全のまちづくり、教育行政、道路整備、庁舎建設、財政運営、福祉行政などが論議されました。
十三日に総務、十四日に産業建設及び文教厚生各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。
閉会日には、委員長による審査報告の後、市長提出議案十四件について採決を行い、いずれも原案のとおり可決されました。また、総務・産業建設の各委員会から提出された意見書について採決を行い原案のとおり可決されました。

代表質問

森本節弘 議員
(志政クラブ)



Q 安心・安全のまちづくり、社会資本の安全性について
A 国行四号橋(仮称)の調査、修繕対策について。
阿波市発注のケーブルテレビ配線工事の事故で、大事には至らなかったが、橋の落下という重大事故が発生した。東かがわ市側の古い橋ではあるが誠意ある回答がなく、対応策を協議検討中である。今後の対応は、

特に道義的にも両市で協議をし、十分検討し、一刻も早く取り残されている車の回収と、新橋の架設について重ねて努力してまいりたいと思う。
国行四号橋の事例でもみられるように、本市公共施設、橋梁等の安全性の確保をどのように考えているか。
本市には庁舎関連施設、学校教育施設、市営住宅等公共施設が二百九十一棟あり、いずれも建築年度が古く修繕改修が必要となっており、耐震診断も含まれていないが、各部署においても、公共施設の維持管理について、安全に安心して利用できる施設を目標に、費用面も含めて順次調査を行い、計画的に修繕また改修の対策を講じて、各施設の品質維持に努めていきたいと思っている。

阿部雅志 議員
(飛翔)



大きく改正される。学校における食育推進の中心となる栄養教諭が市場給食センターに在籍しているが、本市における食育の取り組みは、また、学校給食の食残しの現状は。
本市の教育の目標に食育を加え、学校でもしっかりと指導するようお願いしている。栄養教諭は、小・中学校を回って授業をしており、食の大事さをしっかりと訴えていただいている。今後、阿波市食育推進委員会を設け、さらに推進していきたい。給食の食残しについては、中学校での調査では平均して一割ぐらいが残っており、小学校でも献立により食残しがあると思っている。

本年度、一条小学校が全日本歯科保健最優秀校に選ばれ、文部科学大臣表彰を受けた。十年ほど前からの歯科保健指導の継続した取り組みが認められたものと聞いているが、将来的に医療費の軽減にもつながる素晴らしい取り組みをぜひ継続していただきたいと思う。
この表彰は、過去十年間にわたっての歯磨き指導の成果を得たと思っている。現在は、それぞれの学校で養護教諭が中心となり、担任をはじめ歯科衛生指導をしているが、吉野町で行ってきたような県の歯科衛生士の派遣については、できる限り前向きに考えていきたい。
学校給食法が半世紀ぶりに

この道路の南詰の鳴門池田線から大野島に向かっての約九百mについては、旧市場町時代に三百名近い方の署名をいただき、地域の人の強い要望があるが、何とかできないのか。
やはり、阿波、市場、土成吉野の旧四町を結ぶ東西の道路を、何としても、県にお願し、まず目途をつけたい。その次に、南北の道路という順序でいきたいと考えている。

稲岡正一 議員
(新政クラブ21)



施設改修工事を本年度から実施している。このほか、教育委員会が管理する四十八施設のうち、二十三施設は耐震診断が必要とされ、幼稚園の一施設は診断が終了している。費用の積算はしていないが、相当な費用がかかると思われる。利用状況、財政状況等を勘案し、耐震補強をするのか、閉鎖等の方向を考慮のなか、今後教育施設検討委員会できよく検討し方向を定めたい。

阿波病院南から西条大橋までの道路整備について、この事業を少しでも前に進めるため、合併特例債を使っても整備するということのような前向きな考えはないのか。
この道路は、阿波中央橋までの間は県道として認められており、特例債の適用は難しい。県道香美吉野線は、平成十八年度に測量で五百万円、十九年度は用地で五百万円、二十年度にかけては工事予算を要望しているが、王子前地区は、現在延長二百mの区間であるが、用地買収を終え二十年度には工事着工と聞いている。今後とも川島土木を通じ強く要望していきたい。
現在、県道鳴門池田線から切幡に向かっての市道末広古田線は、地域の人の協力もいただき、すばらしい道路ができてい

一般質問

笠井高章 議員
(無所属)



総合庁舎建設に関し、現在の本庁及び各支所での運用は、地域住民に密着した行政施設の有効利用がなされていると思われるが、新庁舎を建設した場合、既存の施設はどうするのか。
既存の本庁及び各支所は、昭和五十六年以前に建築されたの基準を満たしていない。また、新庁舎建設に合併特例債を財源とできるのは平成二十六年度までとなっており、建設が急務と考えている。現在の各庁舎については、基本的には廃止と考えているが、さまざまな意見があり、今後議会と協議しながら検討していきたい。
現在進められている学校教育施設の耐震補強計画のほかに、市内の教育施設の改修や改築、耐震計画か所はどのくらいあり、見込まれる金額は。
第三次徳島県地震防災緊急事業五か年計画の中で、十二校の学校施設の耐震補強及び老朽

出口治男 議員 (無所属)



阿波市内にある県・国の出先機関は警察署だけである。吉野川署と阿波署の統合の話があり、ぜひ本市に誘致すべきだと思いが、所見を伺いたい。
今後は、統合に関する情報等に十分注意し、積極的に誘致に向け取り組んでいきたい。
高速道路の整備促進について、板野町あたりで、徳島道と高松道との間にジャンクションを設置すれば、鳴門・阪神方面への最短コースとなり大変便利である。設置の要望を。
徳島道四車線化促進期成同盟会に県下十七市町村が加盟しており、同盟会の活動の中にこの案件を加えていただき、実現できるよう努力したい。
平成十八年度一般会計・特別会計の不納欠損額が約七千二百万円、収入未済額が約八億六千五百万円あるが、市税等収納率向上対策本部の今後の取り組みは、また、県滞納整理機構の強力な活用を。
CATVの使用料については、条例の定めに従ってテレビ放送の停止措置を実施。市民税な

篠原啓治 議員 (無所属)



庁舎建設に関して、住民にもっと情報を開示すべきでないか。
職員で構成する庁舎内の検討委員会を、歳入と歳出の両面で検討をして、その資料を議会特別委員会等に提出をして、市民の皆様にお示しする。
廃止するといわれる支所を、何故六億円もかけて補強するのか。
本庁舎と支所は、災害発生時に災害対策本部、現地対策本部となるため、庁舎建設の具体的スケジュールと耐震結果をふまえていきたい。
合併前の起債も含めて償還計画を示すべきと思う。
平成十九年度、地方債の現在高は百七十二億二千四百万円、公債費は二十三億三千万円の予定。毎年二十一億円から二十三億円の返還で推移する。ただ、庁舎建設の事業費に相当左右される。また、国・県の補助金の削減、交付税の動向など不確定要素が多い。
合併特例債に対しての考えは、何に使うかが非常に大事になる。住民サービスは低下できない。しかし市が破綻してはならない。職員共々自覚して、引き締め、引き締め、なお

江澤信明 議員
(無所属)



引き締めてやっていきたい。
庁舎建設に関して、職員にアンケートを実施するより住民にするべきだという意見がある。やはり、情報を出していき検討して決めた方がよいと思う。
地籍調査の現状について旧町別に説明を。また、今後の見通しはどうか。
地籍は、土成町は百%、市場町は八十%、阿波町は六十八%、吉野町は十一%である。阿波町・市場町は、平地部は終了し、山間部が残っている。山間部は境界が判別しない所が多く難しくなっている。吉野町は約二万六千筆残っており、年間五百から七百筆しか出来ないの、今後三十年はかかる。早期に完了するように努力する。
国民健康保険税の統一化に伴う旧吉野町の家屋現況調査の進み具合は。
七名の調査チームで、一年間に四百六世帯の調査が終わり、約五十%終了した。七百四十万円程固定資産税の額が増えることになる。来年一年間で家屋調査は完了する予定である。市の基本方針は、公平公正な行政を行うことである。
歩き遍路が多く、観光案内板とパンフレットの整備が不十分では、また、渡船の復活は、現地調査を行い、必要な所には増設、修繕を早期にした。渡船については、国交省との協議が必要であるが、安全面などクリアすべき点が数多く大変難しいが、可能かどうか今後検討していきたい。

松永 涉 議員
(無所属)



問 新庁舎建設の検討状況を広報するべきでは。
答 市民に調査内容を広報したい。

問 平成十八年四月一日の職員数で、庁舎の規模を計画すべきでない。
答 十八年四月一日を基本とし、職員削減により見直す。

問 阿波市の滞納整理状況は。
答 差押え三十四名、一千万円余りが現状の実績である。

問 人事院勧告と地公法との整合性は。
答 地公法の生計費、他の公務員、地域の民間従事者との均衡が保たれて整合性がある。

問 勤勉手当に勤務実績を反映しなさいとの勧告であるが。
答 阿波市には勤務成績評価制度がない。一定率で支給する。

問 人勧では、扶養手当は民間が高いと報告されているが、阿波市がその民間の額より高い理由は。
答 十六歳から二十二歳までの加算額が、民間比較では除かれている。

問 臨時職員の状況も考え、今回の給与改正は見直すべきだと考えるが。
答 今回の人勧は、若年層だけを上げる内容であり実施したい。臨時職員の通勤手当は、新年度からの支給を考えている。

問 定住化対策の取組状況は。
答 移住交流支援センター設立のため、企画課が総合窓口となり支援事業を検討したい。広報阿波二月号に空き家等の募集記事を掲載する予定である。

武田 矯 議員
(志政クラブ)



問 県内のCATVの大半は、公設民営または民設民営であるが、今後の放送計画と維持管理について。
答 放送内容は、平成二十四年から、阿波市全域を統一する予定である。将来に向けては民間委託なども考えているので、皆様にもご意見をお聞きたい。

問 現在建設途中で動いているので、寛大な気持ちで見守っていたら、このテレビが未長く愛用していたらどうだろうか。
答 農産物のブランド化と、冬季の農地活用に関し、石川県羽咋市のユニークな農業政策について、農地取得の下限面積を五十haから十haに簡単にした就農特区に取り組み、遊休農地の活用を図っている。また、ブランドとは消費者が決めるものという持論もある。当市もこれを見習ったらという思いである。

問 本市の農産物のブランド品目として、レタス、ナスをはじめ十品程度の野菜がある。平成十八年度の農業生産額も百五十億円余りと県下一位である。今後ますますブランド化に力を入れたい。また、農業特区についても、担当部長や職員とよく勉強をしながら、意志に沿えるよう、特区を目指して県とも相談したい。副市長は農畜産の専門家でもあるので、知恵をかりて一生懸命やっていきたい。

問 市にとって今一番重要な課題は、庁舎建設の是非を含めた行政組織のあり方についてと考える。窓口業務だけの支所機能を残し、新庁舎建設は中止し、現阿波庁舎の耐震補強と一部改築で行政組織の再編を図る。そして阿波市のシンボルとして住民の交流、文化の拠点としての阿波市民会館の建設を提案する。
答 提言を受け一つの考え方でして受け止め、担当者として協賛し方向付けたい。

問 庁内でまちづくりを総合的に考えるプロジェクトチームをつくり検討すべきと考えるが。
答 副市長をチーフとして、若手、ベテランも含め、庁舎問題やまちづくり等、幅広く議論を進めているところであり、結論にはもう少し時間が欲しい。

問 国民文化祭が盛会裏に終わったが、一過性で終わらせないため、今後の阿波市の文化振興にどのように取り組むのか。
答 皆様の協力により盛会に実施できた。取り組みの中で、協働の精神や文化を継承、発展していかなければという気概が熟成された。今後、市民に文化を味わっていただくため、コンサート等様々な文化活動の実施に向け取り組んでいきたい。

問 高速道路側道周辺に、防犯灯、街路灯がない地域があり、夜間真っ暗で、人家も少ない所は治安、防犯上問題と考える。
答 防犯灯は、市民の安全確保において重要と考えており、調査し対応していきたい。

正木文男 議員
(無所属)



問 十二月二日の徳島新聞の「支局の一年」という記事で、阿波市においては、人口維持へ施策展開ということが特筆されたが、市長において子育て支援に今後取り組む考え方は。
答 新年度に向かって担当課と協議し、阿波市に一番ふさわしいものを見つけ、子育て支援に一層拍車をかけるべく三月議会には答えを出したい。

問 管理職ではなく、若い子育て中の職員の方など、若手職員による政策研究グループを立ち上げてはどうかと思うが、副市長の考えは。
答 担当課課長等々と相談しながらやっていきたい。

問 少子化の進む時中、長期的には、中学校の統合を議論する場がセットされてもいいと思うが、教育長の考えは。
答 いろいろな状況、動向を見ながら、二十年後くらいには、統合も視野に入れて計画すべきだと思ふ。

問 A・C・N放送、封筒・広報紙等の配布される印刷物への企業広告についての取り組みは。
答 三月議会に条例、規則を提案し、平成二十年四月からの実施を目指したい。

問 庁舎建設については、市民のあらゆるニーズに答えられるよう考えるべきであり、民間も含めさまざまな機関が入居できる庁舎にするべきでは。
答 検討委員会において、市民のための庁舎を建てるべく検討を重ねていきたい。

原田定信 議員
(志政クラブ)



問 生活保護の認定状況について、他の自治体で見られるような申請を水際で止めるようなことで、本当に困っている人が保護を受けられないといったことはいないか。また、リバースムーズの説明を。
答 民生委員を通じるなどして相談や申請があり、担当地区の職員がすべての事案の相談に応じている。それで、基準に沿って収入、健康状態などの各項目を調査、照会している。リバースムーズとは、要保護世帯向け長期生活支援資金貸付制度で、国・県の指導を受け、この四月から始めた事業である。

問 環境行政について、旧市場町で計画されている下水道事業の検討委員会の経過と結果は。
答 地域の実情に応じた整備手法の選定、維持管理費や耐用年数を考慮したトータルコストによる比較、社会経済情勢の変化人口の減少傾向などを踏まえ計画するというところで、現在コンサルに委託し構想を進めている。平成二十年三月までには構想ができてくるものと思われ、再度委員会で検討していく。

問 合併浄化槽の今年度の計画数と、これまでの基数は。
答 今年度の計画基数は合計二百五基である。阿波市になってからの実績は、平成十七年度が百九十三基、十八年度が百七十七基、十九年度は十一月末までの申請数が百四十二基となっている。

月岡永治 議員
(志政クラブ)



平成19年第4回 阿波市議会定例会 議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第76号	平成19年度阿波市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第77号	平成19年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第78号	平成19年度阿波市老人保健特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第79号	平成19年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第80号	平成19年度阿波市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第81号	政治倫理の確立のための阿波市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第82号	阿波市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第83号	阿波市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第84号	阿波市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第85号	阿波市ケーブルテレビ施設整備工事(第1工区)変更請負契約の締結について	原案可決
議案第86号	伊沢小学校大規模改造工事変更請負契約の締結について	原案可決
議案第87号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案第88号	阿波市金清自然環境活用センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第89号	阿波市土柱自然休養村管理センター及び阿波市土柱休養村温泉の指定管理者の指定について	原案可決
発議第5号	割賦販売法の抜本的改正に関する意見書の提出について	原案可決
発議第6号	原油価格の高騰に関する対策を求める意見書の提出について	原案可決

補正予算の説明 ■一般会計/補正予算額は、296,000千円の減額で、補正後の予算は、19,428,000千円となる。
■国民健康保険特別会計/補正予算額は、158,097千円で、補正後の予算は、4,709,176千円となる。
■老人保健特別会計/補正予算額は、7,042千円で、補正後の予算は、5,008,776千円となる。
■介護保険特別会計/補正予算額は、8,471千円の減額で、補正後の予算は、3,519,427千円となる。

活動状況報告

徳島県市議会議員... 研修会開催

平成20年1月23日(水)、徳島市のサンシャイン徳島アネックスにおいて、徳島県市議会議長会主催の議員研修会が開催され、阿波市議会から13名の議員が出席しました。

県市議会議長会会長で徳島市議会議長の笠井国利氏、県市長会会長で徳島市長の原秀樹氏のあいさつに続き講演があり、県内8市から出席の市議会議員が熱心に耳を傾け、出席者からのさまざまな質疑もあり、有意義な研修会となりました。

- 演題 「自治体をどう変えるか ~これからの地方議会改革~」
- 講師 中央大学教授 佐々木信夫氏

〈議会だより編集感想〉

今年の冬は、近年になく雪の日が多く厳しい寒さが続きました。市民の皆さんには、健康には充分気をつけて頂きたいと思ひます。さて、阿波市議会は、「万機公論に決すべし」を念頭におき、市民の参画と協働に取り組まなければなりません。議会広報特別委員会も、行政と市民をつなぎ情報公開と説明責任を果たすべく、広報活動の充実を図っていきたくと思ひます。昨年からの「偽の年」が続いています。「子の年」を考え、「政治」が「正治」になることを願っております。(松永)

